

8/25
 大阪府歯科保険医協会 敬
 発行人 志岐 大
 大阪府浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代表)
 http://osk-net.org/
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可
 2010年第1051号
 (毎月5、15、25日発行)

素案で廃止対象となっている府民施策と予算額

障がい福祉施設機能強化推進事業	1億2247万円
小規模通所授産施設機能強化支援事業	4212万円
地域生活支援事業市町村推進補助金	2970万円
千里救命救急センター支援事業	3億5000万円
運輸事業振興費補助金	3億3095万円
府民牧場管理運営費	8239万円
大阪市地下鉄整備促進費	1億9455万円
新学習指導要領移行促進事業	1億1199万円
計	12億6417万円

2010年度予算に計上済みの不要不急の公共事業

WTCCビル購入関連	117億1145万円
関空二期工事関連	23億2397万円
大阪ミュージアム構想関連	19億1186万円
安威川ダム建設関連	70億4629万円
榎尾川ダム建設関連	10億9400万円
計	240億8757万円

大阪府10年度当初予算、財政構造改革プラン(素案)より作成

府が財政構造改革プラン公表

医療助成改悪打ち出す

橋下府政 WTC購入費はそのまま

大阪府は来年度から3年間の行財政改革を示した「財政構造改革プラン」の素案を5日、公表した。歳出改革と称して2011年度には千里救命救急センター支援事業(10年度当初予算額3億5000万円)を廃止、13年度には4医療費助成制度を抜本的に見直すことなどを打ち出した。橋下知事が押し進めるWTCビル購入や大阪ミュージアム構想などの大型公共事業費の削減については、まったく触れていない。

素案は、08年策定の「財政再建プログラム」(08年〜10年度、財プロ)の後継計画。来年度以降の収支改善額を年間600億円と試算し、府民施策の廃止・縮小や府有地の売却、人件費の削減などを強行する。

府はこの間、財プロに基づき、府民サービスを根こそぎ切り捨て、職員給与の引き下げなどで年間1000億円を超える収支改革を実施してきた。素案では、財源不足に陥った理由として、税収減と社会保障費の増加を挙げているが、WTCビル購入など、橋下知事

「税と社会保障の共通番号制」の導入
 私たち開業医の運動や国民の声をレセプトオンライン請求の義務化を撤回させた。しかし長妻厚労大臣の「最終的には出来る限り100%のレセプトのオンライン

選挙後の情勢と運動のポイント



肝いりの大型公共事業に巨費を投じたことには一切触れていない。歳出改革では、私学助成や4医療費助成、中小企業向け制度融資など財政支出が大きい主要9事業を見直す。府民施策についても①他府県との比較②府民の役割か否か③受益者負担の徹底④などの視点で8事業を廃止、41事業を見直す。

また「国への制度提言」では、生活保護や公費負担医療などは義務的事務として、国が全額負担すべきと提起。その上で、国と地方の権限・財源・責任の明確化を求め

府は9月3日まで意見を募集している。

参院選後の国会へ要請

患者負担軽減など求める

協会・保団連は3日、患者負担の大幅軽減や医療費抑制を求め、参院選後の国会要請を実施した。



服部良一衆院議員(社民・右)



山下芳生参院議員(共産・右)



吉井英勝衆院議員(共産・右)

小澤力副理事長・政策部長の話
 橋下知事は就任以来、福祉や医療、教育などの府民施策を3年間で904億円もの予算を削ってきた。「財政構造改革プラン(素案)」は、橋下「改革」と不景気で危機的状況にある府民に追い討ちをかけるものであり、容認できない。府民生活を下支えしない限り、地域経済の回復も財政再建もあり得ない。社会保障切り捨てに反対する会員の声を集め、府民との共同で命と暮らしを守る府政への転換を求めている。

新版を発行
『公費請求の手引き』
 次号に同封、医院で活用を
 協会は、公費医療の請求方法を解説した『公費医療請求の手引き』(A4判)の新版を発行します。会員には9月5日付本紙に同封して届けます。初回は労災保険や交通事故による医療などについて解説しています。『手引き』はバインダー式のファイルに綴じ込む形式。今後、随時改訂したものを送付しますので、医院で大切に保管し、窓口業務でご活用ください。

明細書発行の義務撤回へ

小澤力政策部長

「税と社会保障の共通番号制」の導入
 私たち開業医の運動や国民の声をレセプトオンライン請求の義務化を撤回させた。しかし長妻厚労大臣の「最終的には出来る限り100%のレセプトのオンライン

オンライ請求の義務は撤回させたが、レセプト請求は原則電子とされ、2010年診療報酬改定では①医療費明細書発行が義務化された。レセプトデータが医療費抑制を目的とした医療の標準化や診療報酬改定に利用される危険性が高い。

診療実態と一致していない診療報酬体系は、それだけで患者に誤解を与えかねず、トラブルは避けられないものになる。算定内容に疑問を持つ患者からの問い合わせにも対応しなければならず、医療機関の業務は煩雑化するだろう。もちろん診療報酬上にこうした医院での義務化やすべての算定項目の算定日の摘要欄記載に反対し、会員から寄せられた声を力に運動を強めていく。(つづく)

PR増刷号

今号は大阪府下の全歯科開業医の先生方にお送りしています。この機会にぜひ協会にご入会下さい。ご入会、協会の概要については、組織部までお気軽にお問い合わせ下さい。

歯界

ラクト・バチルスがむし歯の原因菌だと言われた時代がある。兎唇・口蓋裂やてんかんも結核さえも遺伝による病気と誤解されて病人の家族兄弟までを苦しめた。陸軍軍医総監だった森鴎外は脚気を伝染病だと主張して海軍の栄養障害説と対立した。

誤りは人の常、世の常だが病人には人的災難である。医学、科学の誤りは時を経て黒白が明確になるが、歴史の解釈の真偽、黒白にはより長い年月がかかる。

秀吉や家康の肖像画は本物だろうか、歴史の本で見慣れた品位ある源頼朝の肖像画や馬上さっそうたる足利尊氏の画が最近になって別人物を描いたのだと検証されつつあるらしい。これらの絵から想像力を膨らませてきた者にとっては大ショックである。

頼朝は北條家が御し易い腑抜け顔だったのか、尊氏は御家人達から親しまれるおもしろいおっさんだったのか、新たな想像で歴史観を作り直さねばならない。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)